

INNOVATION CURATOR JUKU 2015-2016

イノベーション・キュレーター塾 塾生募集のお知らせ

SOCIAL INNOVATION LABORATORY KYOTO

京都市ソーシャルイノベーション研究所

持続可能な社会の実現を目指す、 “四方よし”ビジネスの支援者になりませんか？

※四方よし=三方よし[売り手よし、買い手よし、世間よし]+未来よし

塾生募集のお知らせ

対 象

- 企業・NPO等を支援する仕事に携わっている方、金融業界・ファンドなどで他社への融資・コンサル業務に携わっている方、行政職員、士業の方など、支援業務を行っている方。
- 組織内において、新規事業や社内ベンチャーの立ち上げに関わっている方や、経営戦略を立案・実践している方、又は今後実践する方
- 前期全6回通して参加できる方
- 後期（来年度4月以降全4回）に参加する意思のある方（後期では実践を通じての学びを予定しています）

授業日程

- 前期6回（2015.9.26 / 10.17 / 11.7 / 12.12 / 2016.1.23 / 2.6）※いずれも土曜日、13～17時
- 後期4回

会 場

- 風伝館 <http://fudenkan.jp/> 京都府京都市上京区大門町253 丸太町室町上がる。地下鉄烏丸線「丸太町」駅から徒歩5分
- KYOCA 3Fサロン（10.17のみ） <http://kyoca.jp/access/> 京都府京都市下京区朱雀正会町1-1 大宮七条を西に500m。「京都」駅より徒歩20分、市バス205、208、33系統「梅小路公園前」より徒歩2分

募集要項

- 定 員：15名
- 受講料：前期6万円（税別。初年度モニター価格。後期4万） 募集期間：8月4日（火）～8月31日（月）
- 申し込み方法：①名前 ②年齢 ③所属 ④連絡先 ⑤今携わっている業務 ⑥この塾を知ったきっかけ、を明記のうえ、志望動機（400文字程度）と「自分が解決したい課題と実現したい未来について」（A4用紙1枚程度）を添付して、silk@astem.or.jpまでお送りください。書類選考にて可否を判断し、9月4日（金）までにご連絡いたします。

塾 長

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU 株式会社福市 代表取締役

大学卒業後、富士ゼロックスに入社。雑貨商社を経て、1991年にマーケティング会社を設立。家庭用品・インテリアなどで百貨店や、製造業の業態開発・PR事業を行う。大量消費・大量生産に疑問を感じた90年代後半、フェアトレードの概念に出会う。2006年に株式会社福市を設立。フェアトレードのセレクトショップLove&senseを表参道ヒルズで立ち上げ、百貨店などでイベント出店。2012年に阪急百貨店うめだ本店に直営ショップをオープン。東日本大震災後に、東北支援プロジェクト「EAST LOOP」を立ち上げる。6500万円以上の売り上げをつくり、200人以上の女性に手仕事を通じて、収入と生きる力を届けた。現在事業を東北に移管中。経産省・復興庁から、東北支援のための事業を受託。



主 催

京都市ソーシャルイノベーション研究所について

社会課題をビジネスで解決する企業や、社会課題を生まない社会を目指す人々の支援を行う研究所。「学び、育つ場」「つながる場」「広がる場」の場づくりを通して、社会を変える意思を持った多様な人々が集うコミュニティと、ソーシャルイノベーションの潮流をつくることを目指す、「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」の推進拠点。

京都市ソーシャルイノベーション研究所

SILK | SOCIAL INNOVATION LABORATORY KYOTO

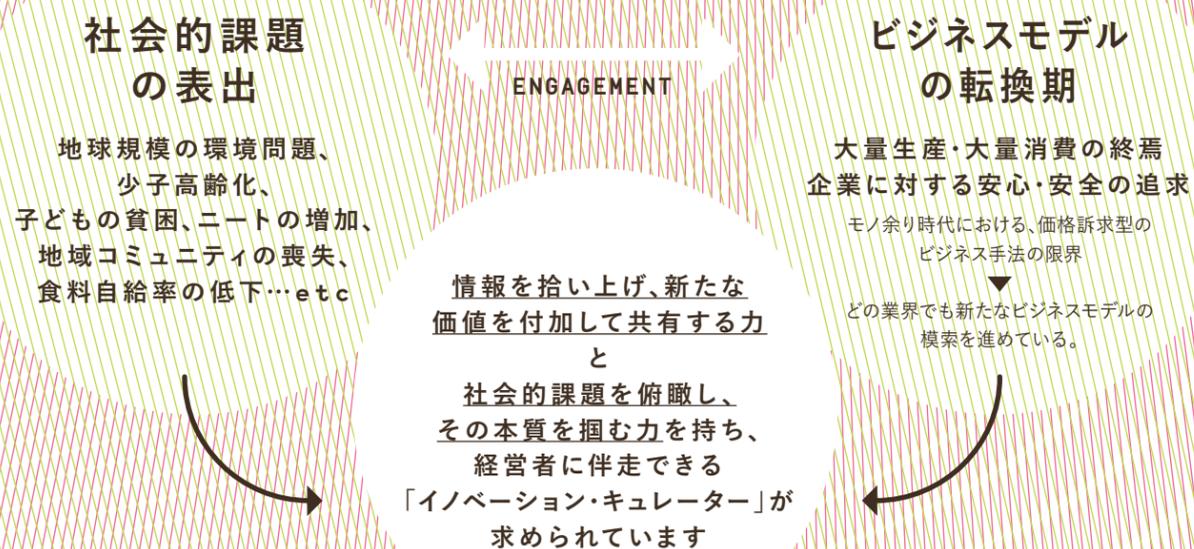
公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM)内
住所:〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-366-5527 FAX:075-366-5529 MAIL:silk@astem.or.jp
www.social-innovation.kyoto.jp



イノベーション・キュレーター塾

【イノベーション・キュレーター】とは、組織内外で、中長期的な観点から、組織の社会性を経営者と共に考え、社会的課題の解決をビジネスとして継続させる伴走者のことです。今回、東北支援プロジェクト「EAST LOOP」等を立ち上げ成功させた、高津玉枝氏を塾長として招き、社会的問題をビジネスの手法で解決するための支援を行う人材「イノベーション・キュレーター」を養成する塾を開講します。

なぜイノベーション・キュレーターが必要なのか？



イノベーション・キュレーターを育成する
4つの体験型プログラム

I. ソーシャルイノベーターに触れる

社会的問題をビジネスの手法で解決している・社会的課題を生まない社会づくりを実践しているゲストスピーカーと塾長のセッションを通じて、どのような目線で社会的問題を見つめ、解決策を導いているかを掴みます。

II. イノベーションにつながる視座を学ぶ

社会を俯瞰し、社会問題の構成要素の関係性を理解し、問題を「因数分解」するスキルを学びます。

III. 社会課題とビジネスがつながる視点を養う

「因数分解」から導き出した社会課題とビジネスを結び付け、持続可能なビジネスモデルを創り出す視点を養います。

IV(後期). ソーシャルチェンジに挑戦する

前期で学習したスキルを活用して、社会を変えるビジネスのあり方を検討する取り組みに挑戦し、実践的な力を身につけます。

プログラム (前期6回分)

この塾では1年間全10回(前期6回・後期4回)の講座を通して、企業経営を消費者や株主だけではなく、多様なステークホルダーとの関係性を視野に入れ、経営者と共に未来を紡いでゆくキュレーターを輩出していきます。前期は、ソーシャルチェンジの仕掛け人の方々と塾長のセッション、ワークショップを通して、塾生同士の学び合いを深めます。

俯瞰力×
多様性×
哲学(生きる有り様)

9.26

大室 悦賀 | NOBUYOSHI OHMURO
京都産業大学 教授・京都市ソーシャルイノベーション研究所 所長

著書:『ソーシャル・イノベーション』『ソーシャル・ビジネス:地域の課題をビジネスで解決する』『ケースに学ぶソーシャル・マネジメント』『ソーシャル・エンタープライズ』『NPOと事業』など。社会的課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・ビジネスをベースにNPOなどのサードセクター、企業セクター、行政セクターの3つのセクターを研究対象として、全国各地を飛び回り、アドバイスや講演を行っている。



CSR×
生物多様性×
ビジネスの新しいルール

10.17

足立 直樹 | NAOKI ADACHI
株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役

企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB) 理事・事務局長。国立環境研究所、マレーシア森林研究所(FRIM)を経て現職。「企業による生物多様性の保全」と「CSR調達(サプライチェーン・マネジメント)」を専門とし、アジアのCSRにも詳しい。著書『生物多様性経営～持続可能な資源戦略～』ほか多数。



若者の貧困×
雇用政策×
キャリア教育

11.7

塩山 諒 | RYO SHIOYAMA
NPO法人スマイルスタイル 代表

1984年兵庫県生まれ。2008年に「スマスタ」を設立。この社会に生きる人々の「つながり」や「創造の力」で、社会の問題を解決していくためのソーシャルデザインで、あらゆる境遇の人々が「ふつうのしあわせ」を感じることができる社会づくりに挑戦する。2014年度は、既存の職業安定所の概念を覆すワークサポート施設「ハローライフ」、被災地の高校生とつくるキャリア教育プログラム『いしのまきカフェ』(かきかっこ)においてグッドデザイン賞を受賞。



地域コミュニティの活性化×
京町家の流通×
留学生の住まいと職

12.12

吉田 光一 | KOHICHI YOSHIDA
株式会社フラットエージェンシー 取締役会長

1950年横浜生まれ、1974年京都に移住、創業。21歳で海外へ旅立ち、約30カ国放浪。ロンドン滞在中に地元不動産屋「Flat Agency」にお世話になる。帰国後、創業。現在は「まちづくり産業」としての役割を果たすべく、理想の学生寮を追求した「シェアフラット」、「定期借家制度」を活用した空き家流通促進、京町家保全・再生事業、留学生・高齢者の居住支援取組など、地域の課題をいち早く見つけ事業化している。



食の安心・安全×
地方都市の活性化×
南米日本人農家経営支援

1.23

中田 智洋 | TOMOHIRO NAKADA
株式会社サラダコスモ 代表取締役

1950年、中津川市生まれ。駒沢大学に進学し、倫理と仏教を学び後の人生に影響を及ぼす。卒業後、家業の中田商店を手伝い、1978年に社長に就任。無添加・無漂白もやしを開発し、普及させる。2000年には、県の食料確保計画に応じ、農業生産法人「ギアリンクス」を設立。2004年には西洋野菜ちこりの国産化に向けたプロジェクトがスタートし、2006年にちこり村をオープン。休耕地利用や高齢者雇用など社会問題を解決するための事業に取り組む。



まとめと振り返り
後期に向けての課題設定等

2.6

高津 玉枝 | TAMAE TAKATSU
株式会社福市 代表取締役

後期では、塾生自身のマイプロジェクトの実践と、塾長やゲスト・塾生同士のセッションを通じた、専門スキルの向上を目指すプログラムを予定しています。